

バラを育てよう！(中・上級者向け)開催レポート

令和7年1月14日(火) エル・ソフィア

講演

今回の講座は、バラを育てたことがある方向けに講義をして頂きました。病虫害の対処法や育てやすい品種の紹介等、満足度の高い講義となりました。なかでも、剪定方法やガーデンデザインについて興味が湧いたという意見が多く、講師の用意したスライドと実体験を交えた説明がわかりやすく大変好評でした。



講師 井上華子先生
(園芸研究家)

イギリスにてNatural Award in Horticulture(Garden Design)を取得。個人庭のガーデンデザイン、管理、育苗、苗販売等のほか、渋谷区内の公園の植栽アドバイザーなどを務める。

バラが育つ条件

- ・「日照条件」と「土の水はけ」が良いこと。
- ・1日4時間以上、直射日光が当たる場所。
→株元は日陰でもOK。葉に当たるように。
- ・「四季咲き」や「返り咲き」は、土に活力が必要。
→牛ふん、馬ふん等を真夏を避けて与える。



株いっぱいには花が咲くモッコウバラ

ガーデンデザイン



←落葉期



開花期→

つるバラは、横に倒す(広げる)イメージで剪定する。冬季にバラ園へ行くと剪定や誘引、デザインなどの勉強になるのでおすすめ。



←日本



英国→

日本のバラ園では、バラだけで構成されたものが多く、イギリスでは他の植物と組み合わせたデザインで構成する方法が多く見られる。

おすすめの品種



グリーンアイス
(ミニバラ/白/四季咲き)

ミニバラの中では、背が高く
なり茂る。耐病性が高く、
つぼみの時は淡いピンクで、
咲き進むにつれ花色が、赤→
白→緑と変化。

バラを育てていますが本や動画を参考にしていて、講座に参加するのが初めてでした。わからなかったこと等を教えていただくことができて良かったです。(60代 初参加)

参加者の声

バラ選びについて、耐病性、花しか考えていなかったが、樹形について目を向けることができた。“どう仕立てたいか”という先生の言葉が印象的だった。(60代 2回目)